

タイトル	油汚染サイトにおける遮水工でセメントが固結しない！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	油類		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図			
作業内容	油汚染サイトにおけるセメントを用いた遮水壁設置作業		
使用機器	セメントを用いた遮水工機械（SMW、TRD、CJG、JSG等の攪拌工法）		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・油汚染サイトでセメント系材料を用いた遮水工事を行った。 ・油分濃度が高い箇所では遮水工を施工した後にチェックボーリングをしたところ、油類の影響によりセメントが十分に硬化しなかったため所定の透水係数を確保できず、十分な遮水性能が得られなかった。 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> ・調査および施工時に油臭、油膜がひどい場合は、計画者へ報告すること。(作業員、監督者) ・高濃度の油分が残存しているサイトにおいてセメント系材料を用いた遮水工を実施する場合は、油混入時のセメント固化状況（強度、透水性等）を把握するため、事前に配合試験を実施する¹⁾。(計画者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> ・（監督者、作業員）当初想定した場所以外において油臭、油膜がひどい場合は施工を中断し、鋼矢板など別の施工方法も含めて再検討すること。工事に支障がある場合は、拡散させてしまった油の除去方法を検討すること。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・計画段階において油類の影響が懸念される場合には、油類に強い鋼矢板(止水材つき)などの遮水工を検討することが重要である。 ・セメント材料を用いた遮水工で十分な遮水性能が得られない場合は、鋼矢板などを用いた遮水工を実施すること。 			
関連法規等、出典	・ 1) 土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第3.1版		
キーワード	油、遮水工、セメント、SMW、TRD、CJG、JSG		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

<p>タイトル</p>	<p>油汚染サイトにおける遮水工でセメントが固結しない！</p>
<p>説明図</p>	
<p>作業内容</p>	<p>油汚染サイトにおけるセメントを用いた遮水壁</p>

指示事項

- ・ 調査および施工時に油臭、油膜がひどい場合は、計画者へ報告すること。
- ・ 高濃度の油分が残存しているサイトにおいてセメント材料を用いた遮水工を実施する場合は、油混入時のセメント固化状況（強度、透水性等）を把握するため、事前に配合試験を実施すること。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

<p>本日の重点施策</p>	<p>ヨシ!!</p>
----------------	-------------

<p>サイン</p>	<p></p>
------------	---------